

KSKP**Threshold**

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ ニュースレター Vol.32

～すれっしょんど～(出発点)

神戸薬物・アルコール依存リハビリテーションセンター

スレッシュホールドとは、新たな出発点、飛び立つ場所という意味です



Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC

The Art of Loving 愛するということ

私の個人的な話になりますが、息子たちが4月で6歳、娘が6月末で2歳になります。息子たちの誕生日は4月28日、四つ葉の日です。妻が出産の時に病院の看護師さんが、子供たちのネームタグに四つ葉のクローバーを書いてくれて「この子たちはきっとしあわせを運んでくれますよ」と言ってもらったと言う言葉を聞いてからというもの、春から夏にかけての時期にクローバーを見るときもそのことを思い出します。家族で四つ葉のクローバー探しをよくしてるのですが、結構たくさんあるものなんです。子供たちも見つけるのですが、実は僕は一度も見つけたことがありません。根気が足りないんでしょうね。

今年のゴールデンウィークに、ついに2年半ぶりに娘を初めて実家に連れていきました。コロナで両親に何かあってもと言う思いから連れて行けませんでした。地元に戻るといい意味でも悪い意味でもさまざまなことを思い出します。なぜでしょうか、私の家族との生活が出来上がっていくように、見えていなかったものに気がついていきます。街並みの変化以上に、自分の内面の変化に気がつくことができます。そして諦めずに回復のプログラムを続けていくことで、本当の意味での私が本当に望んでいた生き方を知ることができます。今から15年前は、私の家族は絶望という言葉しかありませんでした。私の子供たちは、どんな時も私が今何をすればいいかを教えてくれます。私は何一つ両親に幸せを運ぶことはできていませんが、私たちが幸せを感じることが、今私たちにできる親孝行なのかなと思います。Nothing but Love. 神に感謝。

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 代表理事 梅田靖規

自立訓練(生活訓練)神戸市障害福祉サービス事業所 デイセンター リカバリー

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18 ←郵便物はこちらへ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 e-mail kobe.darc@gmail.com

兵庫ダルク 西宮カウンセリングオフィス

〒651-0068 兵庫県西宮市甲子園七番町 9-18 H2O 甲子園 303

共同生活援助(グループホーム) リカバリーホーム TEL078-647-7744 (神戸市須磨区)

姫路アディクションサポートセンター 〒670-0832 兵庫県姫路市双葉町 96 Tel 079-255-5033

智頭リトリートヴィレッジ 〒689-1411 鳥取県八頭郡智頭町八河谷杉の木ランド テニスコート下

www.kobedarc.org

神戸ダルク

検索

私の体験談

ジョー

私が神戸ダルクに繋がって3カ月が経ちました。3カ月という月日は今振り返るとあっという間に過ぎていった様に思います。刑務所から出所したその足で施設につながり入所しました。最初の1カ月目、右も左も解らずただ必死にこの場に馴染もう、慣れようと日々を送るばかりでした。そんな私に仲間達は優しく暖かく接してくれて本当に救われました。ガチガチに緊張し、仲間の輪に入れずにいる私に優しく話しかけてくれたり、そっと手を差し伸べてくれたり、そんな何気ない優しさに自分の居場所を感じさせてくれた仲間の事が大好きになっていきました。



2カ月目、仲間の輪にも入れる様になり生活にも慣れてきた私は、少しずつ自分の我がが出てきだし、日々の生活の中でのちょっとした事でイライラしたり、自分の思い通りにものごとが進まない事に不平不満が出てきだし、そんな自分の嫌な一面を知る度に気持ちが苦しくなり、から回りの時間ばかりを過ごしていました。それでも毎日のミーティングや、仲間達とのコミュニケーションの中でこんな私でも受け入れてもらえている、という事を知り、少しずつ落ち着きを取り戻していきました。施設につながる前の私では、きっと気付く事の出来なかった事が仲間達を通して感じる事が出来たり、受け止める事が出来たり、少しずつだけ確かに自分の中の何か目には見えないものが変わっている事をすごく不思議に思います。

過去の私は薬物が中心の生活の中で走り続けてきました。暗闇の中をどこに向かっているのかさえ解らないままに生き急いできたようです。何かにつまづいても暗闇の中では何につまづいたのかさえも解りませんでした。足元に転がっている石や落とし穴にも気づかなければ足元で咲いてる花も見つけることが出来ずに足早に通り過ぎていた毎日です。

この施設につながって、たったの3カ月でこんなにも不思議な、そしてなんか気持ちの良い心の体験が出来た私は、これから歩む、この回復への道程で、きっと、もっとたくさん感動や優しさ、時には辛い事や傷付く事そんな大切な体験をしていくでしょう。過去の私のしてきた体験なんかより、もっと自分自身を強くしてくれるような大切な体験を。

私が今、伝えたい体験談とこれから先に私が語れる体験談が、私自身にとっても仲間達にとっても暗闇を照らす、希望の光になります様に！

再再再挑戦

座頭市(ニッシン)

アディクトの座頭市(にっしん)です。訳あってアノニマスネームが変わりました笑。あっという間に1年の半分が過ぎてしまい月日が過ぎるのが本当に早いなあと感じています。

何度かニューズレターでも書かせてもらっているのですが公認心理師という資格を目指して勉強しているのですが、その資格取得にむけて合格目指しています。この度3度目の再再再挑戦をしています。何度かチャレンジしていて感じることは内容が難しく理解がしにくく、合格まで20点も足りず道のりは険しいです。

本年度は受験資格の条件もあり、本年度で受験も最後ということもあり、これが最後の挑戦となります。自分にハッパをかける為、去年落ちた時点で自分の力では厳しいと思い講習などの力も借りて勉強させていただき準備をしています。講習の動画を1週間に2回程度受講したり繰り返し見たり、時間がない時は動画を倍速にしたりして勉強していました。施設の配慮で、西宮にあるカウンセリングオフィスで勉強させてもらったりとサポートもしてもらっています。仲間やプログラムから離れて取り組んでいるので、それなりに集中自分の周りのサポートは万全なのですが、自分の調子が不安だったり、プレッシャーなのか集中ができず去年度より力はいらぬにいます。仲間やスポンサーへも相談してあまり気張らずにその日の事だけをやっていくことに意識しています。

まさに「今日だけ」。無理はしないけど少しは前に進んでいっているように感じます。

残り少ないけど合格目指して頑張っていこう！！オッー！！

体験談

ヨウ

アディクトのようです。ダルクに来て3ヶ月が経ちました。薬物をやっていた頃の体験談を少し書いてみようと思います。正直なところ薬物抜きの生活は辛いです。薬物をやっているときは目に映るものの全てが新鮮で綺麗な景色を見た時などはとても感動していました。薬物をやっている人は皆んな友達だと思っていました。やがて友達よりも薬の方が大事になりました。薬物ありきでしか繋がれないし所詮紛いものの友達でした。ダルクに来て薬物抜きの共同生活をして改めて人間関係を構築することの難しさを痛感しました。



今は薬物依存の影響で心が麻痺していて綺麗な景色を見ても何も感じないし、何をやっても楽しく感じません。幸せの前借りをし過ぎました。でもダルクに来た当初に比べると少しずつですが、笑えることも増えてきました。これからも今日一日頑張っていたら元気になれると信じて前向きに一步步着実に進んでいこうと思います。ありがとうございました。

からの～鳥取撮影会

いやー鳥取撮影会寒かったです。それもそのはず、雪がめっちゃ残っていました。撮影した動画は30分くらいに収まっていると思いますが、そこにいたるまでは、雪かきから始まり、川に水くみやなんやらで動画では伝わらない苦労が詰まっています。多分いつも見ているテレビやコンビニで買うおにぎり一つにしても棚に並ぶまでに色んな苦労があるんだろうなーと感じる3日間でした。

撮影会の場所は半径 500 メートル、人がいない昔は一面大麻畑だったそうです。大麻吸いたいです(笑)。人気がなさすぎて夜はちょっと怖いくらいでした。撮影会の内容は焚火をしながら代表と友人がゆるくフリートークするというものでした。ぜひ見てください。

太鼓で学ぶ喜び

カギやん

初めて太鼓をやってみて、こんな事は俺には無理だと思って見ているばかりだった。色んな動きをしないとイケないし、なかなか難しいように見えた事だった。最初は自分がやるのかと思うと絶対に無理だと思った。でも、そこで逃げたらダメだと思って、パチを回すようになり、太鼓を学ぼうと思った。ビデオで太鼓を叩く姿を見てカッコいいと思った。学ぶと自分も、あーゆう風に叩けたらいいなと思う。でも、自分にはできるかなと思い、見ているばかりで、はじめはやろうとしなかった自分だった。でも、みんながやっているのを見ていて自分も、ちょっとはしたいとイケないなと思い、パチを回し覚えようとした。



何回か回すと肩があがらなくてしんどかったけど回し続けた。でも汗をかき、学ぶとだんだん面白く楽しく思えるようになった。自分も、あーゆう風にできたらカッコいいだろうと思ったりした。太鼓を持って叩いたら、お腹に太鼓が響いて良い感触だった。気持ちが良かった。太鼓をかかえて叩いたり踊ったりするうちに学ぶことの喜びがだんだん心に強く持つことができいて頑張ろうという思いがいっぱいです。学んで覚えたなら楽しいと思うし自分が楽しく無いと面白くもないし身体もついてこないし、だんだんできて来たら楽しいと思うし、それには自分が頑張らないとダメだと思った太鼓と向き合おうと思う。そうすれば学ぶ喜びも心に響くと思う。身体に鞭を打って学びたいと思う。自分も太鼓を真剣に学んで踊れるようになりたいと思う。踊れたら気持ちいいし、カッコいいと思う。頑張って真剣にやってビデオで見た人のように綺麗に踊りたいから、これからは楽しく学びたいと思っています。



カメラ

カメラ係をしていますボンドです。繋がって1年7ヶ月になりました施設に繋がりが立てのころは体力もなく目的もなく、自暴自棄になっていました。デイの1階のソファに寝て、次の日に変わるのを待つ僕でした。

「体が動けば、心もついてくる」という言葉のように施設のプログラムを仲間と取り組んでいくうちに、ゆっくりと次第に体力も付くようになり、前向きな気持ちになりました。

施設にcanonの標準レンズと望遠付きのミラーレスカメラがありました。何かとプログラムで出かける時にスタッフが持ち出していたのですが、使ってるとはいえ、あまり見たことがありませんでした。

僕自身も実は結婚式のカメラの仕事をしたのでカメラに興味あるはずですが、心が健康的でないため、そのカメラを見てもあまり関心ありませんでした。それから1年のクリーンタイムをむかえた後に僕は施設のカメラ係になりました。最初の説明では、ただカメラを持ち歩くだけでいいという話で撮るのは皆んなでという話をしていたので、そのぐらいはできると思ったので受け入れました。ところが、実際、そのカメラで撮る仲間がいなく、キャンプ、歩こう会、ログハウス、姫路城など出かけるたびに「何で写真を撮ってないの？」と指摘されるようになりました。僕は本当に何かをしてまで動きたくない人だったので、とても嫌でした。しかしながら、仲間の写真を撮影しているうちに自分が写真が好きだったころの感覚が少しずつ戻り、「仲間」という分野で写真を撮り続けたいと考えるようになりました。施設で回復していく仲間の姿が、特別な感情を駆り立てられるものがあります。カメラが仕事でなく、趣味として、情熱を注いでいたころの喜びが蘇りました。昔の35mmカメラのフィルムネガを空の太陽にかざしてフィルムがキラキラと輝いているように見えたように、今の仲間の姿がキラキラと輝いているように見えます。

いつか仲間の写真展を開くことが今の僕の夢です。カメラのことではなく、ここからは僕の人生の新たな再挑戦です。



ボンド

バイク車検

おっちゃん

6月1日、真夏のような暑い日差しの中、私は施設長のバイクを預かり、車検を受ける為、陸運局へと走らせていた。400ccのバイクに乗るのは実に30年ぶり…しかもあまり乗った事のないアメリカンタイプのバイクで、正直乗れるかどうか不安でしたがバイクに跨り、アクセルを開けた瞬間にアドレナリン全開!昔の感覚が甦り、気分は爽快!若かりしの思い出も甦って国道も疾走(法定速度は守りました)しました。

中間施設につながり、早、1年3ヶ月。寮長も任され、スタッフ研修(仮)と、なって、この日を迎えてバイクを単独で走らせている…。施設長から幾分か信頼を得ているのだろうか私自身、回復の道を走っている実感があり、すごく嬉しく思います。繋がった当初から考えると、ありえない程に生き生きとした自分自身に驚いています。ブロンという私の問題の薬物に囚われていた私は両親を裏切り、嘘をつき、孤立して生きてきました。挙げ句の果てに警察に逮捕されて、4年6月の執行猶予付きの有罪判決を受けてしまい、家族から縁をきられる始末…。

現在54歳の私は、人生の約半分をくだらない薬物に費やしてしまいました。30年前、まだ薬物に手を出していなかった頃好きなバイクを走らせて、ただそれだけで楽しかったし満たされていたのに全てを失ってしまった。後悔しても仕方ない。これからの人生、「まだバイクに乗れる。」「走れる楽しさ」を感じとれた事が何よりも嬉しかった。クリーンを続けてもう一度、バイクに乗ってツーリングをする事が今の私の目標です。



無人島体験談

おれおれ

私が、この神戸ダルクに来て4ヶ月が過ぎ、去る6月6日(火)から1泊2日で、和歌山県にある地の島という無人島へキャンプに行く予定でしたが、雨天により中止となり、残念でしたが、私は健康状態があまり良くなく、正直な所あまり気乗りがしませんでした。私がこの神戸ダルクに来て、野外でのレクリエーションは、花見、須磨海浜公園でのバーベキューなど、あまり多く行われていなかった為、仲間との交流する機会も少なく、無人島でのキャンプが中止となり寂しいところもありました。

身体的な問題で野外でのプログラムがあまり良く参加できないため神戸ダルクの職員や仲間いろいろな配慮して頂いたり助けてもらったりと、寝袋などに入って寝ることが出来ない事など、いろいろな問題を解決してもらえながら屋外でのプログラムに参加できるようにして頂いている中で、今回の無人島へのキャンプは不安もある中で、楽しみな部分も少しはあり、本当に残念な思いでした。

次回もキャンプの予定もあり、私のためにエアベットや、自分が使用している布団などを持参して大がかりなプログラムへの参加となりますが、中止にはなりましたが、無人島へのキャンプ同様不安もある中、楽しいプログラムになれるようにしたいと思います。

私は、今年の2月に沖縄ダルクから、今居る神戸ダルクへ施設移動してきましたが、沖縄ダルクでのプログラムの一つである魚釣りができなかった事も残念でしたが、これから先、今居る神戸ダルクで魚釣りなどのプログラムが行われるのを楽しみにしているので、薬物依存からの回復へと向かって行く中で、さまざまなプログラムが行われていくことを楽しんで行きたいと思います



プール開き

シモ

季節も暖かくなりましたね。まだまだ寒暖差もありますが、先日、施設が移動してから2回目の施設屋上でのプール開きをしました。1回目のプール開きのときはコロナ禍の真っ只中、外部に出るプログラムもままならず施設屋上を利用してプールを設置、皆でつかまりました。その頃は朝施設長が来たときに上から水が流れてる音が聞こえ、「なにしてんの？」って「プールですね(笑)」って会話をしていたのを思い出しました。

今年のプール開きは、前回同様の大きなプールと皆で楽しもうと用意していたテントサウナも設置、それ用の水風呂プールも設置しました。

いつものプログラムとは少し違い何か利用者もワクワクしている様子でした。設営には空気を入れ汚れを落とし水を汲む、単純ではあるけど思いのほか大変な作業でした。その一方でサウナテントも設営万端! 薪の用意もオッケー! サウナストーンもバッチリ! ロウリュウ用の水にはアロマまでばっちり! 僕は、サウナが暖まるまで子供達とプールではしゃいでいました。子供達も初プールで水から上がりたくないモードになっていました。

サウナが暖まり数名で入って暖まっていました。ロウリュウをすれば一気に蒸気による体感温度が上がり汗だくに! 僕は、見様見真似で風を送る人をやってみました! 思いのほか難しく普段体験していてあんまりやなあなんて思っていた事もあった自分にとって新たな気づきをもらいました。その道にはその道のプロがいるんですね!

午後からのプログラムでしたが終始笑い声のある時間になりました。これからの季節熱中症対策と称してプールの時間を増やしてもらおうと密かに企んでいます(笑)

神戸ダルクではこれからの季節野外でのプログラム等増えていきます。僕のモットーとして施設の利用者よりも楽しんでみんなに笑顔を伝染できればと思いますので宜しくお願いします。



ファーマーズマーケット

繋がって7ヶ月になります。今回は、12月に行われる5周年のフォーラムに向けていろいろなことをやっています。ファイザーさんの助成にて、現在畑で作っている野菜を販売したいという意向を受けて、販売場所、販売方法などの参考知識を得るために、須磨の海浜公園と三宮の街中で開催されたファーマーズマーケットに行ってきました。こういうイベントは初参加で、開催されている事も知りませんでした。通常の常設市場と違って目新しい感覚とおしゃれな雰囲気は漂っていたように思います。海辺と街中でしたが、食べ物中心でどちらもオーガニックなものが並んでいたように思います。

陳列などもお洒落で落ち着いた感じでした。海辺の方は海水浴シーズンには少し早いと思いました。気温が高く土曜日だった為、混み具合も凄く駐車場も満車ばかりだったので、駅前に車を停めて、車に残る人と交代交代で現場に向かいました。販売のお姉さんが綺麗だったのが印象に残りました。街中の方は撮影担当しました。撮影をするのは初めての経験でしたが、無我夢中でお店の並びや陳列方法等を撮っていきましました。意表をついたのは、とうもろこしを茎と葉っぱごと売っていて収穫の楽しみのシチュエーションを楽しめるといった趣向のお店もありました。少し遠目に見ると周りにハイブランドのお店があったり犬の散歩中の人だったり、いつもの街中にお洒落なお店が出現して非日常的な感じが素敵にうつりました。みょうが販売の何か怪しい風貌のお兄さんと代表が長いやりとり後、初購入となりました。最も印象に残ったのは帰り際に見たセブ感全開の超べっぴんなお姉さんで(結局そこかいっ!)目があつた瞬間、引き込まれそうになりながら、お互いに惹かれあってる?と薬を使っていた頃の妄想癖の戦いながら(笑)、これの一期一会かなと感傷にひたる今日この頃でした。1番遠い存在やん!知らんけど!!

タカ



ヴィッセル神戸

トシ

アディクトのトシです。ダルクに繋がって半年になりました。先日ノエビアスタジアム神戸で行われたJ1リーグ、ヴィッセル神戸VSジュビロ磐田の試合観戦へ行かせてもらいました。サッカーを生で観戦するのは生まれて初めてだったので、心躍らせて少年時代に戻ったようでした。ノエビアスタジアム神戸に行くのも初めてだったので、その大きさにまず驚きました。スタジアムの外には円陣になってならぶ屋台があり、自然と私のテンションも上がっていました。キックオフ前にはメインの照明が落とされ、観客の携帯のライトのみが光るスタジアムは幻想的な空間となっていました。



そこから、何色にも光るスポットライトと大音響、そして大画面のスクリーンによるカウントダウンの演出に圧倒されました。試合が始まるとサポーターの人達による応援に驚きました。大きな音と激しいリズムで打ち鳴らす太鼓にあわせて歌う両チームの応援合戦はまさに選手と共に戦っているように感じられるほどの熱量でした。残念ながら、この日の試合でゴールする場面を見ることはできませんでしたが、プロ選手の見事なプレーを生で見る事が出来てとても感動しました。私が薬を使っていた頃には感じられなかった「幸せ」をダルクに居て少しずつ今、感じられるようになっていきます。それは、ここが私にとって安心出来る場所であり、となりに仲間が居てくれるからなのだと思います。これからは私は、私にとって薬物を使わずに楽しんで生きていくとはどういう事なのか、その答えを探し続けていこうと思います。

活動報告

5 月

WSC 参加

神戸国際医療交流財団会合

NA 韓国合同ミーティング参加

神戸保護観察所所長様来訪

神戸ダルクゴルフコンペ

ソフトボール(しあわせの村)

焚き火トーク&キャンプ(撮影)

スタミナタロー焼肉食べ放題

ヨーガセラピー大会参加(ZOOM)

BEKOBE キャンプ(撮影)

千葉ダルクセミナー参加

播磨社会復帰促進センター薬物離脱教育参加

ヴィッセル神戸応援(ノエビアスタジアム)

神戸ダルク理事会総会

明石保健所依存症相談

加古川学園メッセージ&カウンセリング

NA 十二の概念勉強会参加

ELK ファーマーズマーケット視察(須磨浦海岸)

屋上プール開き

有園博士基金キックオフミーティング参加

6 月

須磨アルプス登山

長田区自立支援協議会総会参加

ELK ファーマーズマーケット視察(神戸居留地)

みなとのもり公園ピクニック

ファミリーサポートグループ参加

加古川学園メッセージ&カウンセリング

西宮ヨットハーバー神戸の港周遊(撮影)

神戸国際医療交流財団会議

丸山さんビーチキャンプ

たかとり障害者地域生活支援センター来訪見学

兵庫県保護司会講演

RSC 会議参加

ブレイス東京 TIC 参加(ZOOM)

定期開催

姫路家族教室 毎月第2土曜日

神戸ダルク家族会 毎月第4日曜日

姫路無料家族相談 毎月第1火曜日

尼崎無料家族相談 毎月第1水曜日

垂水病院すまーぶ参加 毎週金曜日

保護観察所すまーぶ 毎月第4金曜日

ヨーガプログラム 毎月1回

近況報告・活動予定

今期はこの2年できなかった助成事業がようやくできると
 思っている中で奮闘していますが、やはり2年のブランク
 は大きいです。そのスタートラインのところまで持っていく
 のが 2022 年前半の動きでした。セミナーの開催や、キャン
 プなどのアクティビティに含め、TIC の勉強会やログハウ
 ス増築再開、そしてフォーラムの開催に向けてのさまざま
 な取り組みを手作りでみんなで行っています。自助グルー
 プの再出発に向けても地域の支援者の方々のサポートの
 のおかげでスムーズに進んでいます。次女グループ再開に
 向けてのワークショップやイベントもみんなで感化★が得
 ながらこの時期は、小学校の時の夏休みのように、あっ
 という間に駆け抜けていくんだらうなと思います。夏休みの
 終わりに「時間よ止まれ！」と祈っていた子供の頃を思い
 出します。

神戸ダルク ヴィレッジ広報誌「Threshold」
年間購読のお願い

この広報誌「スレッシュホールド」の年間購読のお願いで
 す。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様
 をお待たせしてしまいましたが、漸く第三種郵便物の取得
 ができました。年間購読費は年6回発行で2000 円になり
 ます。お申し込みはFAX、電話、メール、または同封の
 振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住
 所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。

※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただける場
 合はご連絡ください。たくさんの方に読んでいただ
 けるように希望数を郵送いたします。私自身もこの
 ような広報資料を見つけたことがきっかけで回復の
 場所を見つけることができました。ぜひ、まだ苦し
 む依存症者の助けとなるようにご協力ください。

支援会員のお願い

神戸ダルク ヴィレッジでは、支援会員として、活動を支
 えてくれる方を募集しています。

兵庫県薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。
個人会員は1口 3000 円(ニューズレター定期購読料を
 含む)からになります。刑務所内の方々との文通による
 支援のための切手代などに使わせていただきます。

ご連絡をお待ちしています。

領収書希望の方は一言ご記載ください

神戸ダルク ヴィレッジ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail: kobe.darc@gmail.com

電話相談 来所による面談 メール相談
相談の内容に関する秘密は厳守します

逮捕・勾留中の方々への支援

刑務所・拘留所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び
 保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬
 物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所
 前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資
 料請求などもご連絡いただければ対応いたします。

★月曜～金曜 10:00～17:00

メールは24時間 OK。 kobe.darc@gmail.com

神戸ダルクへのご献金・献品のご支援本当にありがとうございました。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができています。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

ご献金

びわこ家族会 金川様 宗教法人 円満寺 代表役員 亀田 龍昇様 松島 弘子様 法務省 大阪保護観察所 増井 久輝様
おーまきちまき様 千葉菜の花家族会 富井 建夫様 上内 鏡子様 青山 晴様 神戸女学院大学 金田 知子様
社会福祉法人 友朋会 藤澤 真知子様 伊藤 恵子様 中西 礼皇様 横田 尤孝様

ご献品

岡村 恵子様 びわこ家族会 金川様 梅田 明様 栗島運送 栗島 茂喜様 鈴木 秀三様 山崎 圭様 生田 茂美様
(令和4年4月9日～令和4年6月8日到着分・順不同 ※購読料・支援会員費の方を含む)

寄付や献品のお願い

引き続き、非常に苦しい状況の中、お米などのご支援ありがとうございます。不思議なもので、お米のストックがあると、本当に安心します。生活習慣病を気にしながらも、回復初期は食べて栄養をつけて体力的に回復するところから始まります。コロナ。まだまだ予断は全く許さず、少し行動範囲も広がったものの、自粛生活は続いています。ご家庭で余っている食料品(米、野菜、乾物、味噌、醤油など)から洗濯洗剤やシャンプー、石鹸、などの日用品などがございましたら、神戸ダルクまでご献品ください。たくさんありましたら、車で取りにいくこともできます。年末年始は刑務所から出てきた仲間たちが一般家庭のように暖かく正月を迎えることを目指します。回復の中で、普通の家庭の様に安心して家族でご飯が食べられる様な環境はもっとも回復支援に役に立ちます。外出が少ないため、ストレス発散には、どうしても食事が進んでいきます。心苦しいですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00950-9-275937

口座名 シヤ) コウベダルクヴィレッジ

店番 〇九九 0275937

献品の送り先住所 653-0041 神戸市長田区久保町 7-7-18

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

編集後記

神戸ダルクで9ヶ月くらいになる仲間で、このニュースレターを集めてる変わった人がいますが、全ての仲間のメッセージを読み漁っているんですが、ここまで僕が一人で編集してきましたが、既に僕よりニュースレターのバックナンバーについて詳しくなっているようです。嬉しいというか、変わった人がいるもんだと言うか、たまに別のダルクの施設長からニュースレターを読んで「頑張ってるな」と連絡をもらうこともあります。それでも嬉しいですね。100号とか出る頃にはみんなどうなっているのだろうかと言う思いに耽る今日一日です。

神戸ダルク ニュースレター Threshold (出発点) Vol.32

編集人 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 梅田晴雄

印刷 プリントバック

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail kobe.darc@gmail.com

www.kobedarc.org

価格 1部 100円 年会費 3000円

(購読料は年会費に入ります)

発行人 関西障害者定刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階